	⑶　ロッド、リンク及びケーブル類	①　損傷の有無及びクランプの緩みの有無を調べる。	①　損傷及び緩みがないこと。
		②　ブレーキを作動させ、連結部の緩み及びがた並びに割りピンの欠損の有無を調べる。	②　緩み及びがたがなく、かつ、割りピンの欠損がないこと。
	⑷　ペダルロック（クローラ式に限る。）	①　ペダルを踏み込み、足を離したときの作動の適否を調べる。	①　確実にロックされていること。
		②　ロック状態におけるブレーキの効き具合を調べる。	②　ブレーキが十分に効いていること。
		③　ロック部の損傷及び摩耗の有無を調べる。	③　損傷及び著しい摩耗がないこと。
8　荷役装置	荷台、テールゲート及びサイドゲート	①　荷台の上下並びにテールゲート及びサイドゲートの開閉の動作の適否を調べる。	①　円滑に作動すること。
		②　ダンプ時にテールゲートが自動的に開放し、下降時にロックするかを調べる。	②　開放が滑らかで、かつ、確実にロックできること。
		③　各部の亀裂、変形及び摩耗の有無を調べる。 亀裂の存在が疑われる場合は探傷器等で調べる。	③　亀裂、著しい変形及び摩耗がないこと。
		④　取付けボルトの緩み及び脱落の有無を調べる。	④　ボルトの緩み及び脱落がないこと。
		⑤　荷台を上下させ、フレームと荷台との取付けピン、ダンプシリンダー取付けピン等のがたを調べる。	⑤　各ピン部に著しいがたがないこと。
9　油圧装置	⑴　作動油タンク	①　タンク取付け部及び外周壁面の溶接部並びにカバー、継手、油面計等の接続部からの油漏れの有無を調べる。 加圧式タンクの場合は、その安全弁を含め、エア漏れの有無を調べる。	①　油漏れ及びエア漏れがないこと。
		②　機械を水平な場所に置き、油量及び油の汚れの有無を調べる。 ただし、製造者が定める方法によりオイル管理を行っている場合は、油の汚れの有無の確認を省略することができる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
		③　ブリーザーの目詰まりの有無を調べる。	③　目詰まりがないこと。
		④　ブラケットの取付け状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	④　取付け状態が適正で、かつ、ボルト及びナットの緩み及び脱落がないこと。
	⑵　フィルター（サクションフィルター、リターンフィルター、ラインフィルターに限る。）	①　フィルターエレメントを取り出し、汚れ、目詰まり及び損傷の有無を調べる。 ただし、フィルターエレメントについて、製造者が定める方法により定期的に交換されている場合は、この検査を省略することができる。	①　汚れ、目詰まり及び損傷がないこと。
		②　フィルターケース、取付けフランジ、パイプ等からの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
	⑶　配管（ホース類、高圧パイプに限る。）	①　亀裂、ひび割れその他損傷、劣化及びねじれの有無を調べる。	①　亀裂、ひび割れその他損傷、劣化及びねじれがないこと。
		②　継手部からの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
		③　取付け状態並びにボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	③　取付け状態が適正で、かつ、ボルト及びナットの緩み及び脱落がないこと。
	⑷　油圧ポンプ（駆動装置を含む。）	①　パイプ及びホースとの継手部並びにシール部からの油漏れの有無を調べる。	①　油漏れがないこと。
		②　油圧ポンプを作動させ、無負荷及び負荷状態における異常振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。	②　異常振動、異音及び異常発熱がないこと。